

高橋健三関係資料目録

令和4年5月作成

【経歴】高橋健三(自恃居士、1855-98)。明治期の官僚、ジャーナリスト。東京大学を中退後、官途に就き、驛通局に出仕し、以後内務省、農商務省などを経て、文部権少書記官、兼太政官権少書記官、内閣官報局長を歴任。1890年にはフランスに出張し、マリノニ式印刷機購入に助力、『官報』の改良に尽力した。官報局長を辞任後、『大阪朝日新聞』の客員となり、論説を担当した。美術雑誌『国華』を始め多くの雑誌の刊行に関わった。98年7月小田原にて肺患のため死去。(参照『日本近現代人名辞典』『新潮日本人名辞典』等)

【主な内容】高橋健三を師と仰ぐ鈴木英雄が小田原市名誉市民となったのを記念して発刊された『鈴木英雄伝記資料』編纂にあたり、当館に持ち込まれた資料群で、明治中期の諸官庁、政界、言論界、教育界に関する史料、原稿や書簡など幅広い分野に関わる貴重な資料を含む。

A 文 書

分類項目 点数 青焼き

- 1 翻訳原稿類 119 72
- 2 原稿・草稿類 80 8・21・22・24・26・36・43
- 3 写本 21
- 4 官報局関係 236
- 5 国政一般 41 15・108
- 6 文部省・教育 43 10・141・14・15・17・23
- 7 学校・機関 93 34
- 8 出版・会社 167
- 9 日記 37
- 10 私文書 258
- 計 1095

B 書簡・ハガキ類

- 1 個人から高橋健三宛 2045
- 2 機関から高橋健三宛 88
- 3 宛先が高橋家以外 80
- 4 高橋清子宛 272
- 計 2485

総 計 3580

凡例：原資料の状態により閲覧できない場合があります。

□は資料の状態により判読ができなかった箇所を示します。